

明けましておめでとうございます。何はともあれ 2023 年（令和 5 年）の始まりです。コロナ禍も 4 年目になるのですね。（COVID コービッド-19）2019 年以來ですから長い付き合いです。一度コロナに感染した人でも 2 回目にかかっていたと聞きました。幸いゆんたく・なんくる共、今のところ NO コロナです。でもほんとに気が抜けませんね。「ご多幸…」とか「平穩に…」「祈ります…」の言葉を使うのが憚るように思えます。12 月の半ば過ぎから寒くなって来て、寒いお正月になりました。冬らしいといえますが、雪の多いところの方々のご苦勞を思えば、京都の底冷えも道路が凍るまでは至らないのでよしとしましょうか。ゆんたく・なんくるの子どもたちもはそれぞれ 4 月からの新入学（高校、専門学校、大学）を目指してステップアップしようとしています。高校生になる A ちゃんは少し大人びてきました。去年、大学生になった B ちゃんがこのお正月にゆんたくに半年ぶりに顔をみせに来てくれます。一人暮らしはどんなものでしょうか、大学生活は？バイトと勉強は？と聞きたいことが色々できます。Welcome home ○○○！！

言葉の中に潜むギャップ：無意識に使う言葉を再点検する 6 回目

（支援）続き：昨今、行政や社会福祉協議会などの部署名には○○支援課/係りと「支援」という言葉が多く使われている一方で、誰の都合がより優先されて物ごとがすすめられてきたのか振り返ってみると、かたよりのあったかもしれません。特に限られた制度、予算、人員などのなかで物ごとをすすめるとついつい「管理」を行いがちです。いま一度、福祉に関わる立場で何を・誰を起点に物ごとを考えるのか、私たちはそもそも「誰のため」「何のために」存在するのかを強く意識し、相手の存在を起点に相手とともにあることをしっかり肝に銘じておきたいものです。

（連携）これも「多職種連携」や「地域との連携」などの文脈でよくつかう言葉です。そもそも「連携」とは「互いに連絡をとりながら物ごとを行うこと」しかしながら「連携」と言いながら、何となく名刺交換をして名簿に名を連ねて同じテーブルに座って顔はあわせていても、おのおのが各々の「受け持ち」の立ち位置からのみ関わりを持っているだけということはないでしょうか。もしそうならばそれは「分担」です。お互いに知り合う「面識」からおのおのの強みをわかち合う「分担」までは到達しても… つづく …

\* ゆんたく・なんくるの子どもたちへの「寄付・プレゼント」 ありがとうございます。\*  
“赤い羽根共同募金”さま “とり政”さま 楽しいクリスマス会を開催できました。m( )m

### ゆんたくホームのゆんたくさびら

（おしゃべりしましょう）

冬休みになり、クリスマスやお正月をそれぞれの楽しみ方で過ごしました。また、年末にはオリックス財団様より招待していただき、京都水族館に行ってきました！それぞれ興味がある生き物をみてテンションが上がっていました。生き物に詳しい A ちゃんは見ながらたくさん豆知識を教えてくださいました！(^ ^)！

冬休みが終わり、それぞれ学校が始まります。進級や進学に向けて健康第一で過ごしていきたいですね。

### なんくるはなんくるないさ～

（なんとかなるよ！）

ゆんたくとなんくる一緒にクリスマスパーティーをしました。普段はあまり関わる機会がないゆんたく・なんくるの子どもたちですが、年齢はとても近いので、楽しいパーティーになったようです。

クリスマスやお正月でとても充実した冬休みはあっという間に終わりそうです。いよいよ学校卒業が近づいている子もいます。新生活への準備もしながら、気を引き締めて健康に残り少ない学校生活を送ってほしいと思います。

らいげつ  
来月のキッチンゆんたくのご案内  
2023年

2月15日（第3水曜日）開催  
よてい  
予定メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ（パスタ）



お知らせ

毎月第三水曜に開催中の、  
キッチンゆんたくをお手伝いして下さる  
ボランティアの方を募集しています！！  
興味がある方はゆんたくへ連絡を！！  
(TEL : 075-383-0926)



1月のキッチンゆんたく

メニュー♪

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ（パスタ）

夕方5時～なくなり次第終了

利用料：無料(受付に募金箱を設置しています)

ご協力よろしくお願ひいたします。

かんせんたいさく りゆうい かいしょく  
感染対策に留意して会食とテイクアウト

(テイクアウトは限定35食)の両方で開催しま

す!

なくなり次第終了です。早めにきてね♪

※※お車での来場はできません※※

徒歩・自転車でお越しください

**Thankful**

近隣の会社K様より金一封を頂きました。フードバンク京都、セブンイレブン様からはそれぞれ  
食材や食品、お菓子、文具を頂きました。  
皆様、ありがとうございました!

Thanks☆



紙芝居・絵本紹介

『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック : さく  
じんぐう てるお : やく

今回の紹介者は「ゆん・なん」のスタッフです。保育士になる勉強をしていた時、1ページごと、  
隅々まで絵を繰り返し見て、様々なことに気づいて、絵本の奥深さを理解したと話してくれました。

<あらすじ>

おおかみのぬいぐるみを着て、いたづらを始めた“マックス”。大暴れる彼に怒ったお母さんは、“マックス”を夕食抜きで寝室に放り込んでしまいます。すると、寝室にいきり木がはえて、あっという間に森の中へ。どこからかともなく運ばれてきた船に乗った“マックス”が長い航海の末にたどり着いたのは『かいじゅうたちのいるところ』でした。すごい声で吼えている、ぎよろぎよろ目玉と鋭い爪を持った恐ろしい怪獣たちを前に“マックス”は怖がるどころか、怪獣ならしの魔法を使って、アツという間に怪獣の王様になってしまいます。

踊ったり、木に登ったり、行進したりと、楽しく遊ぶ“マックス”と怪獣たち。ところが怪獣たちが寝てしまうと、“マックス”は急に寂しくなり、優しいお母さんのところへ帰りたくなります。と、そのとき、遠い遠い世界の向こうから美味しい匂いが流れてきました。“マックス”は怪獣の王様をきっぱりと辞め、長い航海の末に自分の寝室に帰りつきます。するとそこには、まだ暖かい夕食がおいてありました。

子どもの時代に出会った懐かしい絵本も大人になって読み返すと“えっ”と新鮮な驚きが・・・!!絵本は年齢制限なしの豊かで深いものですね。この絵本の“かいじゅうたち”も実は誰を描いているのでしょうか?